

757 畑中尚氏  
淀川水系流域委員会 様

2007年 1月 18日

伊賀市阿保 畑中尚

淀川水系流域委員会の各委員の皆様、本当に長きにわたりご苦労様でした。

最後にあたり意見書を提出させていただきます。

生活上、防災上必要な工事以外はすすめないとの方針・約束事です。

川上ダム建設は河川整備計画に位置づけられたごとく山林の伐採、土砂の移動、自然環境破壊がすすめられています。

添付資料はその説明資料です。

次期淀川水系流域委員会への引継ぎ検討課題を明らかにして、

第2期淀川水系流域委員会として国交省近畿地方整備局に審議結果を締め括り、意見書を提出していただきますよう要望致します。

以上

## 川上ダム建設予定地調査レポート

2007.1 NPO 法人 伊賀・水と緑の会

ここに掲載する写真は、現時点での川上ダム建設予定地の現況示すものです。国土交通省および水資源機構は、自然にやさしいダムをキャッチフレーズに掲げています。

現時点での淀川流域委員会における幾多の検討経緯の過程については衆目の知るところであります。

では、実際の現場はどのようになっているのでしょうか、実態をありのまま現地レポートを写真で紹介いたします。

なぜ、こんなに急ぐのでしょうか、

本当に、自然にやさしいダム造りでしょうか、  
自然はすべての生物が共有するものであって、  
人間だけが占有すべきものではありません、  
その意識があれば決してこんな工事をする事は、  
ありえないと思いますがいかがでしょうか。



**ダム建設予定地全景**



ダムサイト（下流から 左岸を見る）  
左上の重機大きさから伐採面積の広さがわかります。  
しかも、ダム堤より下流においてなぜこれほどに伐採すれ必要  
があるのでしょうか



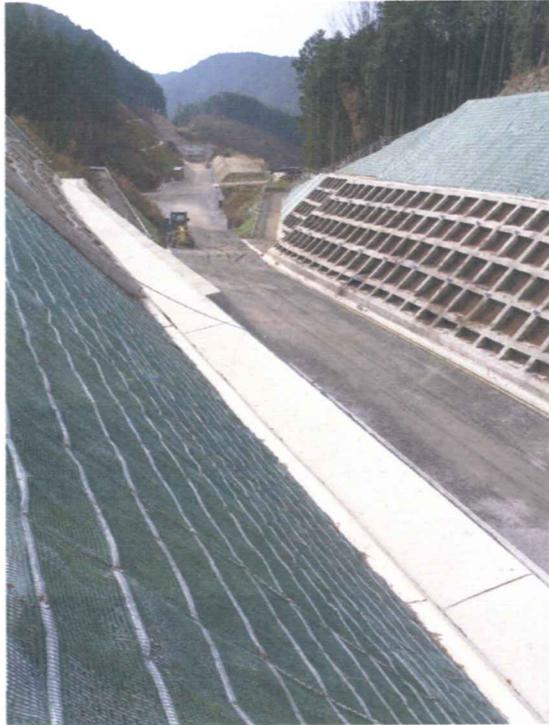
同 伐採地の詳細  
土砂の流失防止処置がなされず放置状態にあります。  
すでに表層は流れだしています。



ダムサイト（下流から 右岸を見る）  
こちらも、左岸と同じ下流において  
広大な面積が伐採されています。なぜこんなに必要ですか、



伐採現場の詳細 ここには多くの生物が生息していました。いまは何処に！！



**付替 県道 青山松阪線工事**

膨大な面積の森と驚くほどの土砂が削り取られています。  
自然にやさしい・・・であれば技術的な工夫が出来ると思いますが  
この土砂はどこに搬出されたのでしょうか。



寸断された森、削りとられた山。地藏さんも生物もどうしたらいいの  
ですか。



**ダム湖底予定地 の土砂築造**

これは何の目的をもって作られているのでしょうか。  
周辺整備工事における発生残土はダム湖底予定地の平地に計画され  
搬出されていて未だ十分に堆積可能です。なのにこの盛土築造は何のため  
のものなのでしょうか。



**盛土構築部 進入路**  
ここから流れ出る泥流は  
前深瀬川へ流れ込みます。

**盛土構築部 上部に巨岩は何のための  
ものですか。**  
付近の工事から排出したものとは思われ  
ません。なぜここに巨岩をストックする  
必要があるのでしょうか。



盛土構築の先端は碎石採掘山です。  
これは明らかにダム建設を目的とした工事ではないでしょうか。



盛土構築の直下 前深瀬川  
昨年の夏 見事なほたるの乱舞が観察されたところです。



盛土上部からほたる生地の前深瀬川。  
泥流防止処置ではなく排水溝が見えます。さてこれからほたる達はどこへ行けばよいのでしょうか。